

【専門分野】

科目名	小児看護技術論	講師名	非常勤講師	学	2	履修期	第2学期			
単 位	1単位			年						
時間数	15時間									
授業概要	小児の成長発達を踏まえた看護を実践するために必要な看護技術の方法を理解し習得する。									
授業科目目標	1. 小児の成長発達を踏まえた看護技術が習得できる。									
授業計画	<p>1回：バイタルサイン測定</p> <p>1) バイタルサインの測定と工夫</p> <p>2) 体温・脈拍・呼吸・血圧の測定方法</p> <p>2回：身体計測</p> <p>1) 身体測定時の看護師の役割</p> <p>2) 体重、身長、頭囲・胸囲の測定方法</p> <p>3～4回：与薬法</p> <p>1) 子どもへの与薬の特徴</p> <p>2) 与薬療法中の援助と管理</p> <p>3) 輸液療法中の援助と管理</p> <p>5回：経管栄養法、浣腸</p> <p>1) 経管栄養中の援助と管理</p> <p>2) 浣腸時の援助</p> <p>6回：酸素療法、吸引、吸入</p> <p>1) 酸素療法中の援助と管理</p> <p>2) 吸引時の援助</p> <p>3) 吸入時の援助</p> <p>7回：検査の看護</p> <p>1) 採尿法・採血法</p> <p>2) 腰椎穿刺</p> <p>3) 骨髄穿刺</p> <p>8回：終了試験</p>					講義 演習	講義 演習	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験									
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院.									
学生へのメッセージ	<p>基礎看護技術で学習した知識と技術をもとに、小児の成長発達段階を関連させて理解して下さい。実習において経験する機会が多いため、自主的に取り組んで下さい。特にバイタルサイン測定と身体計測は必ず実習で経験する技術ですので、実施できるよう技術を習得しておいて下さい。またモデル人形を用いますが、本当の子どもだと思って接して下さい。</p> <p>【関連科目】 共通基本技術Ⅰ～Ⅲ、生活援助技術Ⅰ～Ⅲ、診療関連援助技術Ⅰ・Ⅱ、臨床看護総論、小児看護学概論</p>									